
退職なさる先生からのメッセージ



内藤 歓修

私が、跡見学園短期大学に教員の職を得たのが、1986年4月のことでしたので、既に31年が経過するところです。ついこの間、跡見学園の一員となったという気持ちでいましたが、気が付けば長い月日が過ぎてしまいました。この間、先生や事務の方々には大変お世話になりました。無事に何とか定年まで勤められたのは皆様のお陰と甚深の感謝を致します。非常に充実した、満足のいく時間を過ごすことができました。

これからは、跡見学園で培った経験を生かして、地元の伊豆の地域のために貢献していきたいと思います。というのは、表向きの言葉で、出来ればノンビリ生きて行きたいと思います。

私は、1982年に短期大学に英文専攻が増設されて4年目の、1986年に就職しました。それまで、他の大学に9年間教鞭をとっていました。跡見学園短期大学は有名校の1つで、人気があり入学試験の倍率も高く、活気のある雰囲気の良い学校でありました。私は英語や英文学の授業を持っていましたが、英語学習に意欲的な学生が多く、英文法の授業では英語の原書を使用しても支障がない程でしたし、作品講読もペンギン叢書などの原書で行いました。

時代は刻々と変化します。やがて、短期大学の人気は衰え、多くの大学が短大を閉鎖し、四年制大学へと移行していき、跡見学園短期大学も2007年3月閉学しました。私たちも女子大学に移行しましたが、女子大学も跡見学園が伝統的に持つ、品の良さ、学問に対するひたむきな真面目さを備えた学生が多く、期待通りでした。

英文学関係の講義科目にも興味を示す学生が多く、英語・英文学の科目を担当する私としては大変嬉しかったのですが、英語そのものに、更に興味を示し、積極的に学習する学生が増えると、良いと思います。今や、英語は、いや、他の外国語も習得するのとならないのでは、将来大きな違いが出て来るでしょうから。

跡見学園女子大学が益々立派になることを祈念し、退職の辞と致します。
